

ロードエポ A/B

特長

- 流動性が高く、流し込みに最適です。
- 道路鋳の裏面に塗布してもダレません。
- ポリカーボネート、アクリル樹脂、金属にも接着できます。
- コンクリート舗装アスファルト舗装にも OK。
- 埋設にも貼り付けにも適しています。



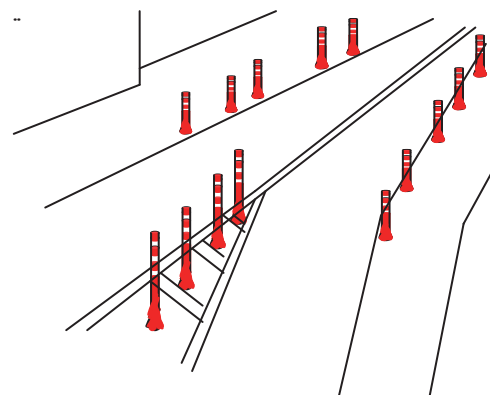
道路鋳
緑石鋳
固定式誘導標

A 剤 B 剤 = 1 : 1
青缶に赤缶を投入するだけ！
白くなるまでしっかり混ぜれば
抜群の接着力を発揮します。

■硬化時間 (23℃でのフィンガーテスト)

指紋が付かなくなるまでの時間 → 約 3.5 時間

爪で傷が付かなくなるまでの時間 → 約 4.5 時間



視線誘導標
車両進入抑制柱
中央分離帯

種類

- 1 セット 1 kg
A(主剤) 500g 缶
B(硬化剤) 500g 缶



使用上の注意

- ※A 剤 : B 剤 = 1:1 で充分攪拌混合してください。混合不良は硬化不良の原因になります。
- ※混合後は密封された容器には入れないでください。
- ※雨天時には施工しないでください。
- ※5℃以下の環境では、樹脂の粘度が上がり、主剤・硬化剤の混合が困難になります。
予め温めて粘度下げてから攪拌すると効果的です。
- ※新設のコンクリート・アスファルト舗装に施工する場合は 2 週間以上の養生期間を設けた後に施工してください。

使用方法

■固定式のポールを接着する場合

- ① 予め、舗装面とポールの土台裏面の汚れやゴミ等をよく取り除いておきます。
- ② 『ロードエポ』のA剤とB剤を等量出して、よく攪拌混合します。
- ③ 混合した接着剤をポール台座裏面にヘラ等で塗布します。
- ④ 接着剤を塗布したポールを舗装面に押圧して養生します。

■着脱3本脚式のポールを接着する場合

- ① 台座の穴にワッシャとスプリングワッシャをセットし、ボトルを上から通し、台座底面に埋設用脚をあてがい、ボトルを締めておきます。
- ② 舗装面にドリルで3箇所、穴をあけます。(穴径40mm・深さ60mm)
- ③ 穿孔後、ブローア等で穴の中の砂塵等を取り除きます。
- ④ 『ロードエポ』のA剤とB剤を等量出して、よく攪拌混合します。
- ⑤ 混合した『ロードエポ』を穴に流し込みます。
- ⑥ ポールにセットした埋設用脚3本を同時に穴に挿入して接着剤が硬化するまで養生します。

■着脱1本脚式のポールを接着する場合

- ① 舗装面にドリルで1箇所、穴をあけます。(穴径60mm・深さ60mm)
- ② 穿孔後、ブローア等で穴の中の砂塵等を取り除きます。
- ③ 『ロードエポ』のA剤とB剤を等量出して、よく攪拌混合します。
- ④ 混合した『ロードエポ』を穴に流し込みます。
- ⑤ ポールの埋設用脚に緩みの無い事を確認後、穴に挿入して接着剤が硬化するまで養生します。

■道路鋏や緑石鋏を接着する場合

- ① 予め、舗装面の汚れやゴミ等をよく取り除いておきます。
- ② 『ロードエポ』のA剤とB剤を等量出して、よく攪拌混合します。
- ③ 混合した『ロードエポ』を道路鋏等の裏面にヘラ等で2~3mm程度に塗布します。
- ④ 接着剤を塗布した道路鋏を舗装面に押圧して養生します。

【ポール1本当たりの接着剤塗布量の目安】

固定式ポール	標準タイプ(φ250mm台座)	約350g
	角台座タイプ(150mm×200mm台座)	約220g
	ミニタイプ(φ175mm台座)	約170g
着脱3本脚式ポール		約375g(1穴当たり約125g)
着脱1本脚式ポール		約285g
道路鋏・緑石鋏		約50g(10cm角)